

「餌探しをすぐにあきらめない」天敵で害虫防除

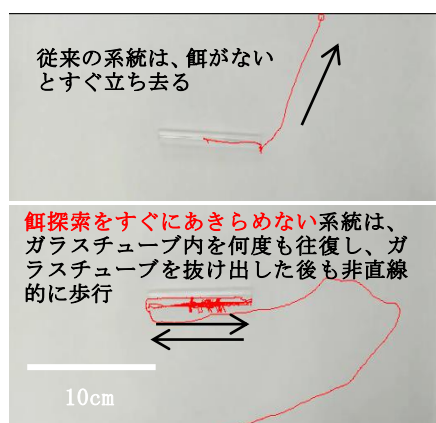
「餌探しをすぐにあきらめない」天敵とは、農業害虫を粘り強く探索することで作物株上での定着性が向上し、優れた防除効果を発揮する天敵昆虫の系統です。天敵を放して害虫を防除する際、害虫の発生がまだ少ないうちに放す必要があります。しかし天敵にとっては餌が少ないため、天敵は栽培ほ場からの逃亡を図り、定着に失敗しやすいという課題があります。そこで重要害虫アザミウマの天敵で、初期定着が不安定であることが報告されているタイリクヒメハナカメムシを対象に系統を育種改良しました。

☆ 技術の概要

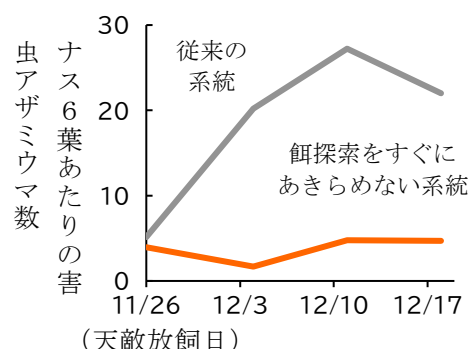
1. 従来のタイリクヒメハナカメムシ（左図）は餌となる害虫が周辺にいないと、すぐにその場から去る傾向があるのに対し、餌探索をすぐにあきらめない昆虫は、餌を捕獲した周辺を何度も往復して探索した後に去る行動パターンを示します（中図）。
2. 施設ナス圃場に従来の系統と育成した系統を放したところ、育成した系統の方が作物株上によく定着し、害虫アザミウマに対し高い防除効果を示します（右図）。



害虫アザミウマ（上）とその被害葉（中）、天敵タイリクヒメハナカメムシ（下）



タイリクヒメハナカメムシ成虫が害虫アザミウマ成虫を捕食後、ガラスチューブを抜け出してエリア外に出るまでの歩行の軌跡



あきらめない系統を利用することで、害虫に対する防除効果が発揮

☆ 活用面での留意点

本系統を農業現場で活用できるようにするには、利用法を開発するとともに農薬登録する必要があります。実用化に向けて取組を進めているところです。詳しくは、[【https://www.naro.go.jp/inquiry/index.html】](https://www.naro.go.jp/inquiry/index.html)までお問い合わせください。

（参考）https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/nipp/161258.html